



会社説明会

2013年3月1日

1

会社概要

2

業界順位

3

医療機器の種類

4

医療関連市場

5

今後の戦略

会社概要

1. 会社概要
2. 本日の講演者
3. 社名の由来
4. 当社グループの概要
5. 子会社紹介 ①②
6. 当社グループの拠点展開
7. 業界順位 ①②③
8. 業界ポジション

事業内容

9. 売上構成比
10. 事業内容 ①②③

医療機器の種類

11. 医療機器の分類

医療機器の流通

12. 医療機器業界の位置付け
13. 医療機器販売業

業績の状況

14. 当社グループの業績
15. 2013年6月期 第2四半期の概況
16. 2013年6月期業績予想

中期計画達成の為に

17. 強みと課題
18. 医療関連市場
19. 売上規模別分布
20. 診療報酬改定の状況
21. 当社の基本戦略
22. SPDの流れ
23. SPDに対する戦略
24. 中期業績目標

株式に関する情報

25. 配当政策
26. 配当総額
27. 自己株取得に係る事項
28. 当社株価
29. 株主状況

社会貢献活動

添付資料

1. 協和医科器械株式会社 沿革
2. 株式会社栗原医療器械店 沿革
3. 株式会社オズ 沿革

会社概要

1. 会社概要

- 【設立】** 2009年7月(2010年10月に現社名へ商号変更)
- 【代表者】** 代表取締役社長 池谷保彦
- 【資本金】** 1,018,862千円(2012年12月末現在)
- 【事業内容】** 医療機器の販売及びメンテナンス
介護福祉機器の販売及びレンタル事業
- 【従業員】** 1,150名(連結・2012年12月末現在)
- 【決算期】** 6月末
- 【本社所在地】** 東京都中央区京橋1丁目1番1号八重洲ダイビル3階
- 【子会社】** 協和医科器械(株)、(株)栗原医療器械店、(株)オズ
メディアソリューション(株)、(株)ネットワーク

2. 本日の講演者

代表取締役社長 池谷 保彦

〈兼務の状況〉

協和医科器械(株) 取締役会長

(株)栗原医療器械店 取締役

(株)オズ 取締役

メディアソリューション(株) 取締役

(株)エヌエイチエス静岡 取締役

日本医療機器販売業協会 副会長

1954年1月16日 生まれ (59歳)

慶應義塾大学 商学部 卒業

趣味：ゴルフ・サッカー

座右の銘「起きて半畳、寝て一畳」

メディアスホールディングス株式会社

理 念

医療に携わる私たち (Medical+us) は、
医学的用途 (Medical use) に関する知識
を深め、医療現場への情報発信源
(Media) としての機能を高め、
同じ志を持つ仲間 (us) を増やし、
医療環境の明日 (アス) を創造して
いきます。

メディアスホールディングス株式会社



循環機器
販売事業

(株)ネットワーク

循環機器
販売事業

(株)オズ

医療機器
販売事業

協和医科
器械(株)

医療機器
販売事業

(株)栗原
医療器械店

医療材料管理
サービス事業

メディアス
ソリューション(株)

5. 子会社紹介 ①

協和医科器械株式会社

設立 : 1959年7月
代表者 : 代表取締役社長 平野 清
資本金 : 8,000万円(2012年12月末現在)
従業員数: 452名(2012年12月末現在)
決算期 : 6月末
本社所在地: 静岡県静岡市駿河区池田156番地の2

株式会社栗原医療器械店

設立 : 2009年4月
代表者 : 代表取締役社長 梅澤 悟
資本金 : 8,000万円(2012年12月末現在)
従業員数: 580名(2012年12月末現在)
決算期 : 6月末
本社所在地: 群馬県太田市清原町4番地の6

株式会社オズ

設立 : 1968年5月
代表者 : 代表取締役社長 永田 洋朗
資本金 : 2,000万円(2012年12月末現在)
従業員数: 53名(2012年12月末現在)
決算期 : 6月末
本社所在地: 静岡県静岡市駿河区高松2丁目
23番39号

メディアソリューション株式会社

設立 : 2010年5月
代表者 : 代表取締役社長 諸角 嘉男
資本金 : 2,000万円(2012年12月末現在)
従業員数: 30名(2012年12月末現在)
決算期 : 6月末
本社所在地: 東京都千代田区神田須田町
2丁目3-17 金網ビル4階

株式会社ネットワーク

設立: 1992年7月
代表者: 代表取締役 角野 剛
資本金: 5,000万円(2012年12月末現在)
従業員数: 7名(2012年12月末現在)
決算期: 6月末
本社所在地: 東京都新宿区新宿1丁目16番9号
※ 2012年7月23日より当社グループ会社に

6. 当社グループの拠点展開

● グループ会社の主な拠点展開

KYOWA FOR YOU WITH
 株式会社 栗原医療器械店
 株式会社 オズ **メディアソリューション**
 株式会社 ネットワーク ● ● 物流センター



7. 業界順位(専業ディーラー別) ①

(単位：%)

順位	茨城県 (469億円)		栃木県 (290億円)		群馬県 (440億円)	
	社名	シェア	社名	シェア	社名	シェア
1	ムトウ	12.3	サンメディックス	23.9	栗原医療器械店	43.7
2	アステック	9.5	栗原医療器械店	12.4	エムシー	3.6
3	日東	7.9	日成メディカル	7.0	栗原レントゲン	3.6
4	栗原医療器械店	7.9	エムシー	5.3	ディーブイエックス	3.2
5	中嶋メディカルサプライ	5.9	栃木放射線	3.6	エム・イーサービス	2.9
6	ディーブイエックス	3.8	富士フィルムメディカル	3.3	メディコ	2.6
7	富士フィルムメディカル	3.4	オリンパスメディカルサイエンス販売	3.2	富士フィルムメディカル	2.4
8	セントラルメディカル	3.0	ライズ	3.1	オリンパスメディカルサイエンス販売	2.2
9	ムサシエンジニアリング	2.7	いわしや丸富器械店	2.8	川崎医療器	2.0
10	双葉	2.7	ムトウ	2.5	チバビジョン	1.8

出所) 「医療機器・用品年鑑2012年度版市場分析編」(株)アールアンドディ発行より当社分析

業界順位(専業ディーラー別) ②

(単位：%)

順位	埼玉県 (1,020億円)		東京都 (2,992億円)		神奈川県 (1,451億円)	
	社名	シェア	社名	シェア	社名	シェア
1	栗原医療器械店	15.2	イノメディックス	7.1	協和医科器械	5.5
2	ムトウ	7.7	MMコーポレーション	5.7	八神製作所	5.3
3	MMコーポレーション	3.6	ムトウ	5.6	サンメディックス	4.7
4	いわしや盛田器械店	3.6	栗原医療器械店	4.6	望星サイエンス	4.7
5	平和医用商会	3.2	オリンパスメディカルサイエンス販売	3.4	MMコーポレーション	4.6
6	富士フィルムメディカル	2.7	富士フィルムメディカル	2.9	ソルブ	4.4
7	アイティーシー	2.6	八神製作所	2.6	サンライフ	3.8
8	ウィンインターナショナル	2.1	グリーンホスピタルサプライ	2.4	東和医科器械	3.5
9	アスト	1.9	コニカミノルタヘルスケア	1.8	ディービーエックス	3.0
10	オリンパスメディカルサイエンス販売	1.9	ウィンインターナショナル	1.8	ムトウ	2.8

千葉県 ... 14位 1.1%

出所) 「医療機器・用品年鑑2012年度版市場分析編」(株)アールアンドディ発行より当社分析

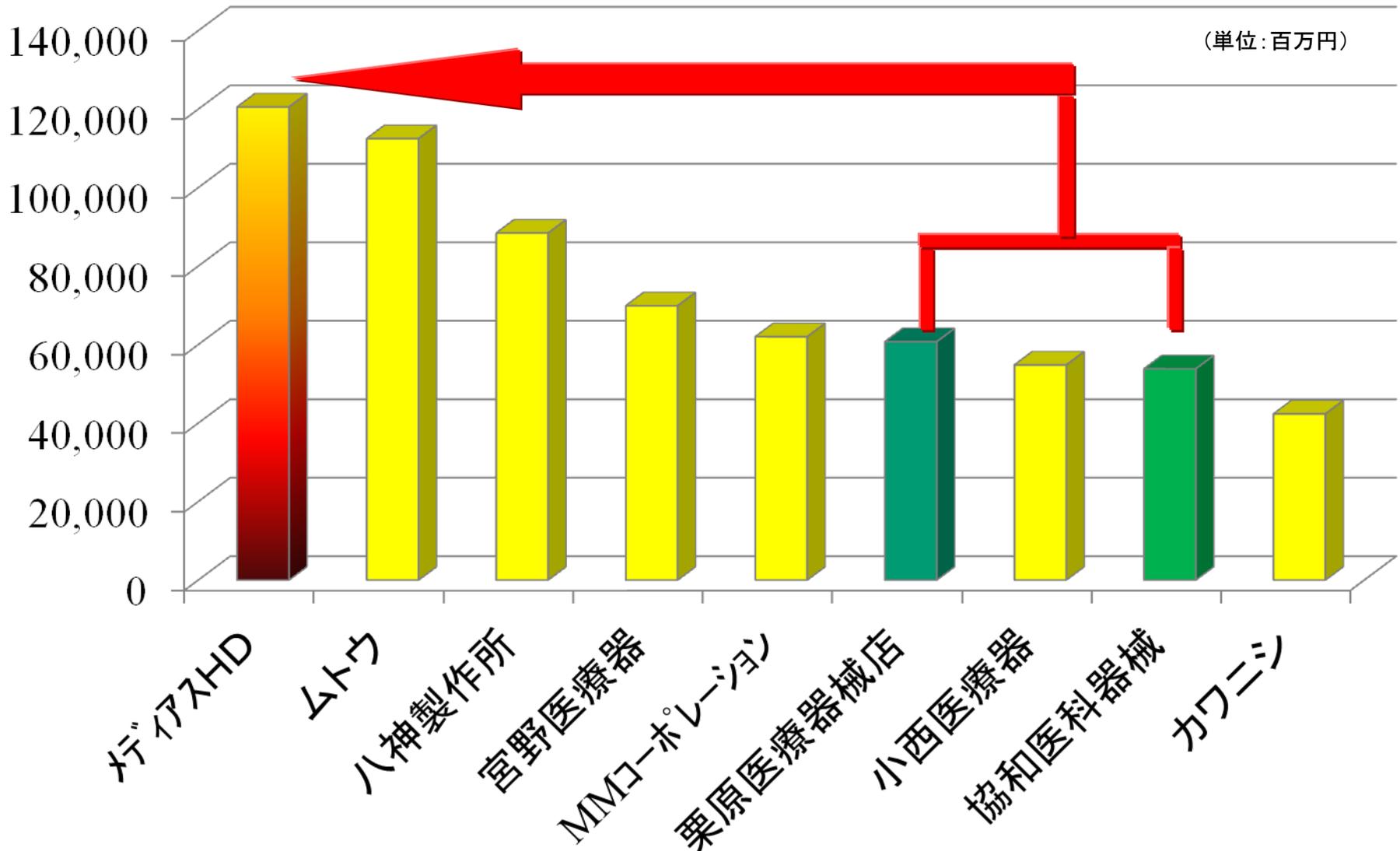
業界順位(専業ディーラー別) ③

(単位：%)

順位	山梨県 (188億円)		静岡県 (697億円)		愛知県 (1,340億円)	
	社名	シェア	社名	シェア	社名	シェア
1	マコト医科精機	24.5	協和医科器械・オズ	40.9	八神製作所	32.6
2	豊前医化	15.9	八神製作所	10.0	協和医科器械・オズ	6.4
3	ムトウ山梨	14.7	リイツメディカル	4.0	三輪器械	5.2
4	協和医科器械	10.7	東西医用器	3.4	エッチエスメディカル	3.4
5	富士フィルムメディカル	3.2	ワールド・メディカル・サプライ	2.9	リイツメディカル	3.2
6	平塚メディカル	3.1	富士フィルムメディカル	2.4	トウルムホッホメディテック	2.7
7	匠メディカル	2.4	コニカミノルタヘルスケア	2.4	名古屋医理科商会	1.8
8	中央メディカル	1.9	マストレメディカル	2.4	コニカミノルタヘルスケア	1.7
9	伊東メディカル	1.4	アクセス	2.0	加藤器械店	1.6
10	平穂医科器械	1.0	ディーブイエックス	1.9	ワキタ商会	1.5

出所) 「医療機器・用品年鑑2012年度版市場分析編」(株)アールアンドディ発行より当社分析

8. 業界ポジション（卸売業専門業者）



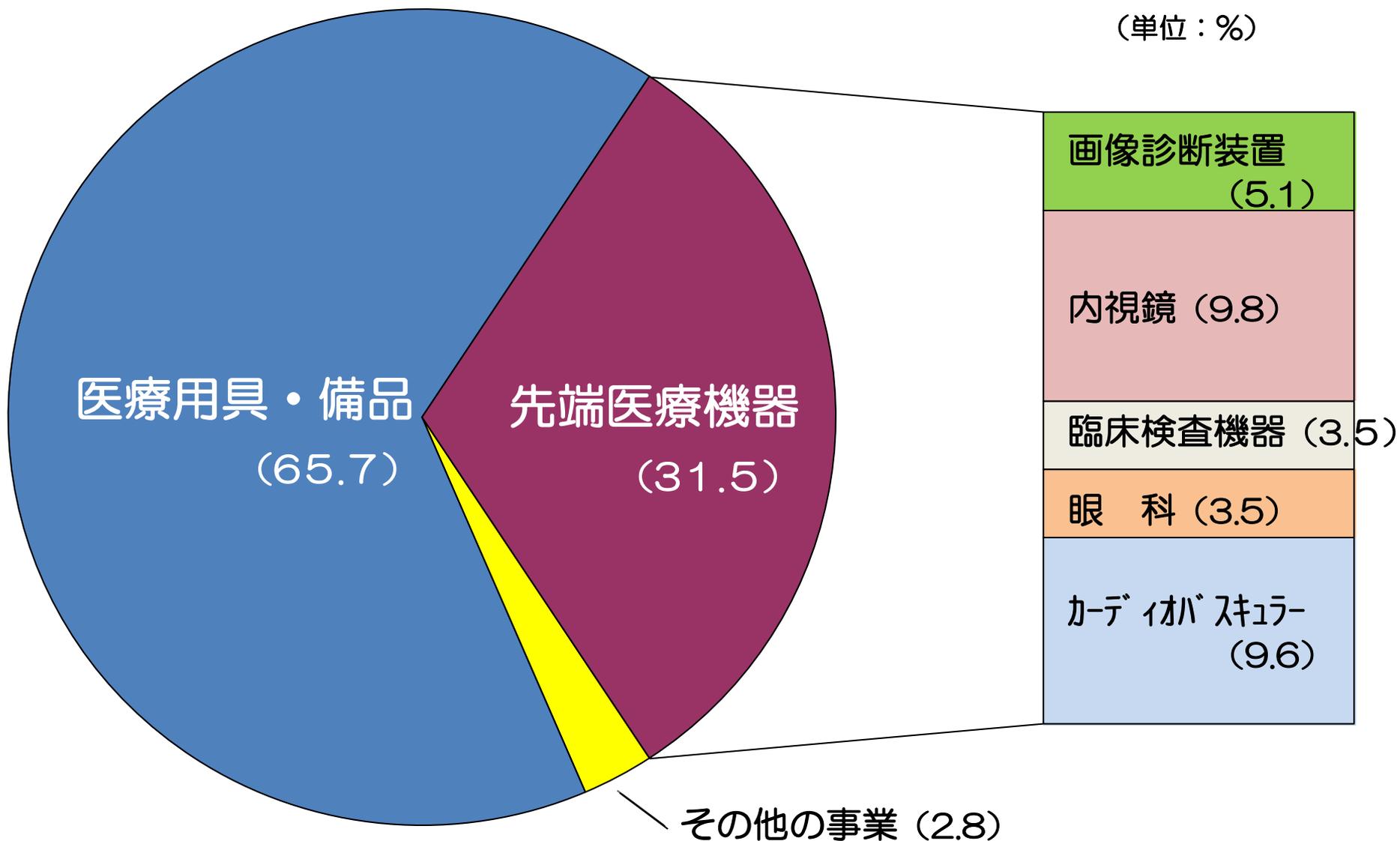
出所) 「医療機器・用品年鑑2012年度版市場分析編」(株)オールアンドディ発行より当社分析(総売上単純合計)

※ 数字は、2010年度の売上高となります。

事業内容

9. 売上構成比

(単位：%)



先端医療機器

- 画像診断装置 PET、MRI、CT、エコー
- 内視鏡 ビデオ内視鏡システム、外科内視鏡システム
- 各種臨床検査機器
生化学自動分析装置、尿分析装置
- 眼科 自動視野計、レーシック、フェイコマシーン
- カーディオバスキュラー(心臓循環器系)用具
人工心臓弁、ペースメーカー、ステント



検査や治療を迅速・正確にするための
先端医療機器販売

② 医療用具・備品

医療用具・備品

- 消耗品類 注射器、点滴用品、X線フィルム
- 検査機器 血圧計、顕微鏡、心電図検査機
- 病院内備品 ベッド、車椅子、薬品棚
- 手術用機器・手術用具 人工関節等
- その他 レセプトコンピュータ、電子カルテ



注射器などの消耗品から事務機器まで薬品以外の
ほとんど全てをカバー

③ その他の事業

(1) 介護福祉機器の販売及びレンタル事業 他

救急車搭載医療器械



介護福祉機器(備品・消耗品)



販売・レンタル

介護施設等

一般個人

レンタル件数: 約68,000件

(2) 医療機器の修理及びメンテナンス事業

当社が販売した医療機器の修理及びアフターサービスが基本であり、安定収入となっています。

修理及びアフターサービス対象製品: X線診断装置・心電計 等

保守契約施設数: 約250施設



KE30



(3) メディカルシステム事業 (ASPサービス)

医療機器の種類

11. 医療機器の分類

	一般医療機器	管理医療機器	高度管理医療機器
該当する医療機器	医療用はさみ 医療用メス 血圧計・レンズ	MR装置 X線診断装置 補聴器	心臓用カテーテル 埋込型ペースメーカー コンタクトレンズ
〈取扱許認可〉 製造販売業許可 製造販売承認 販売許可	必要 不要 不要	必要 認証または承認が必要 届け出が必要	必要 承認が必要 許可が必要
クラス分類	クラス1	クラス2	クラス3 クラス4



↑ ペースメーカー

← 人工血管



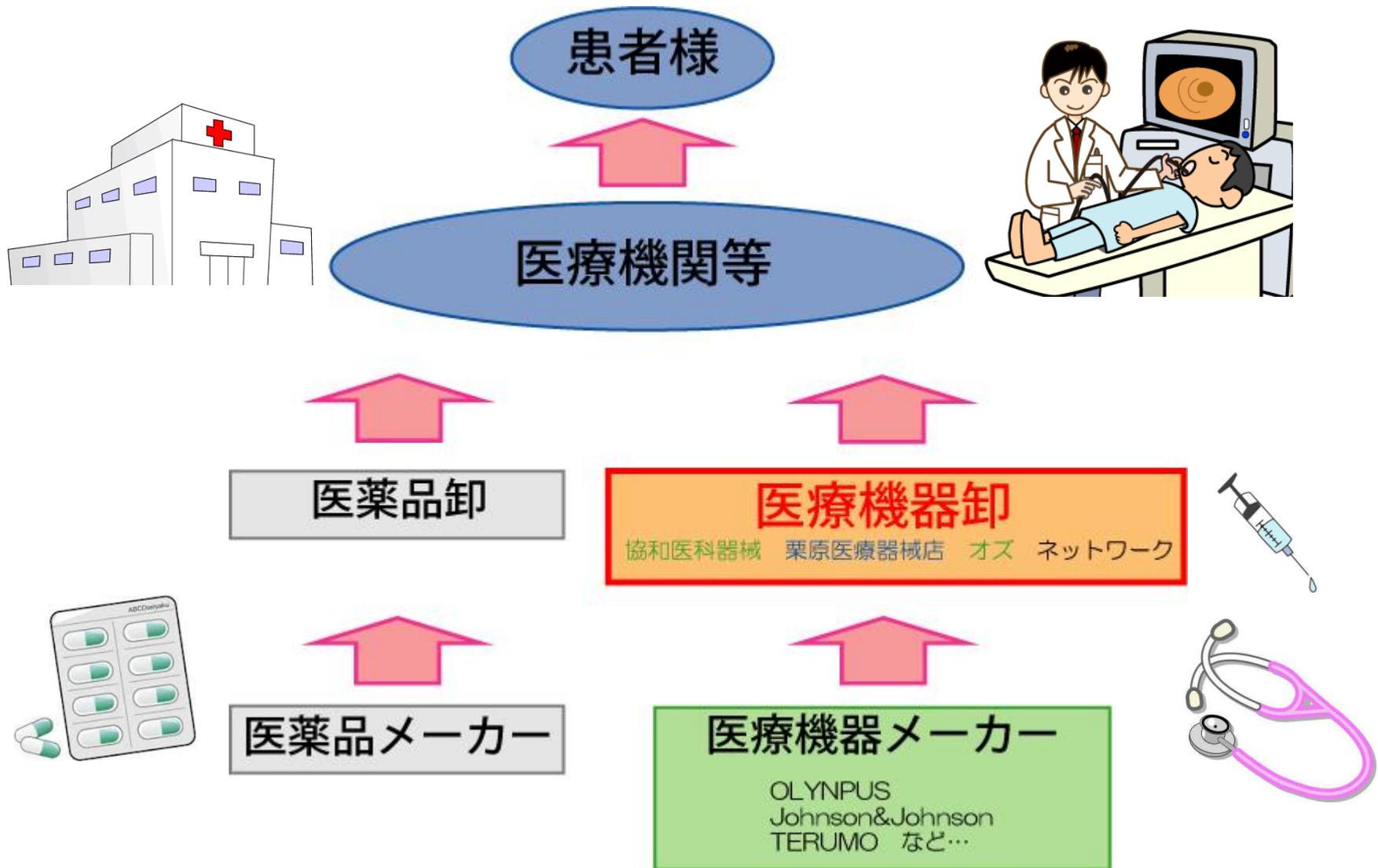
柑子



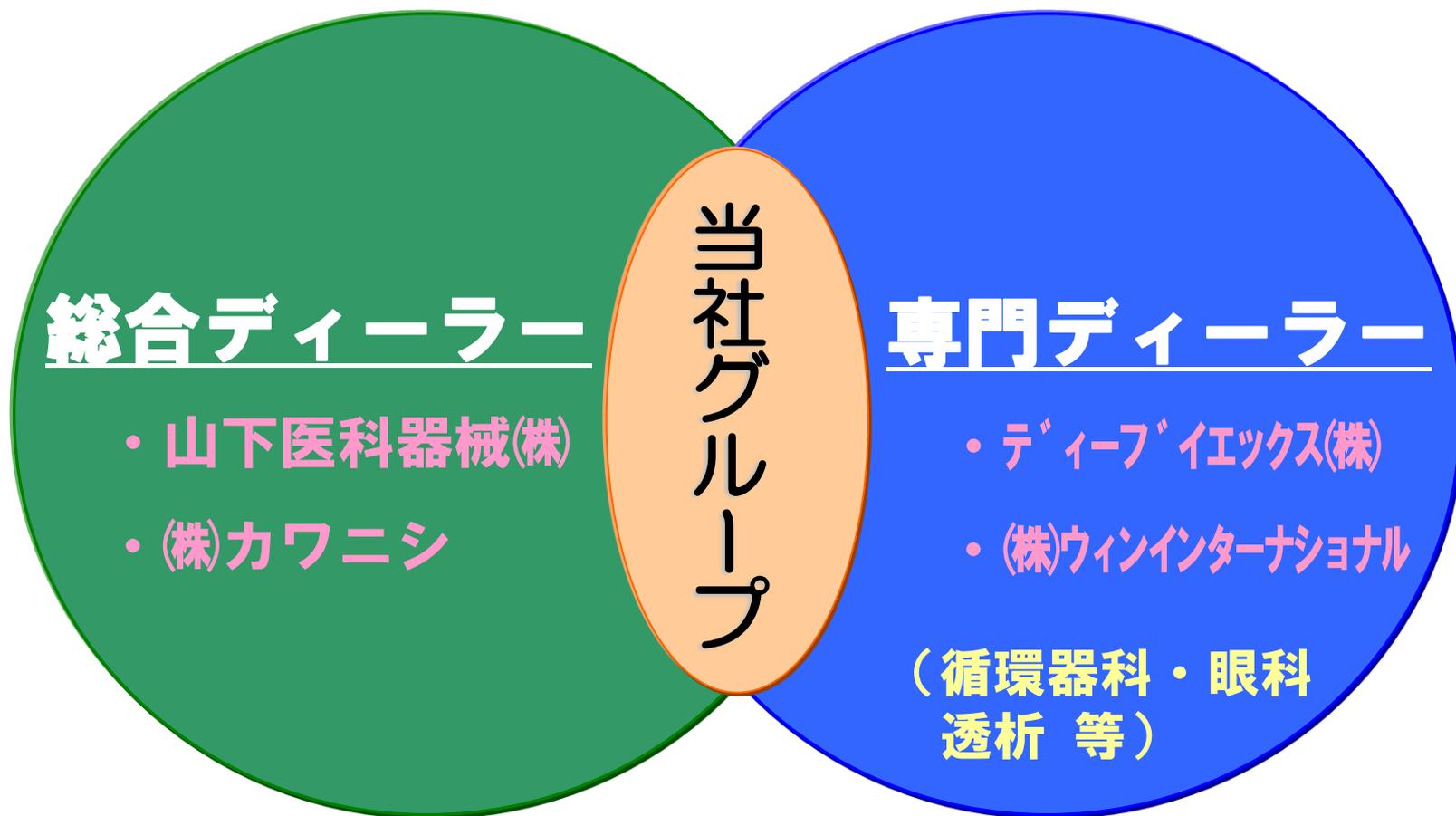
人工骨とう

医療機器の流通

12. 医療機器業界の位置付け

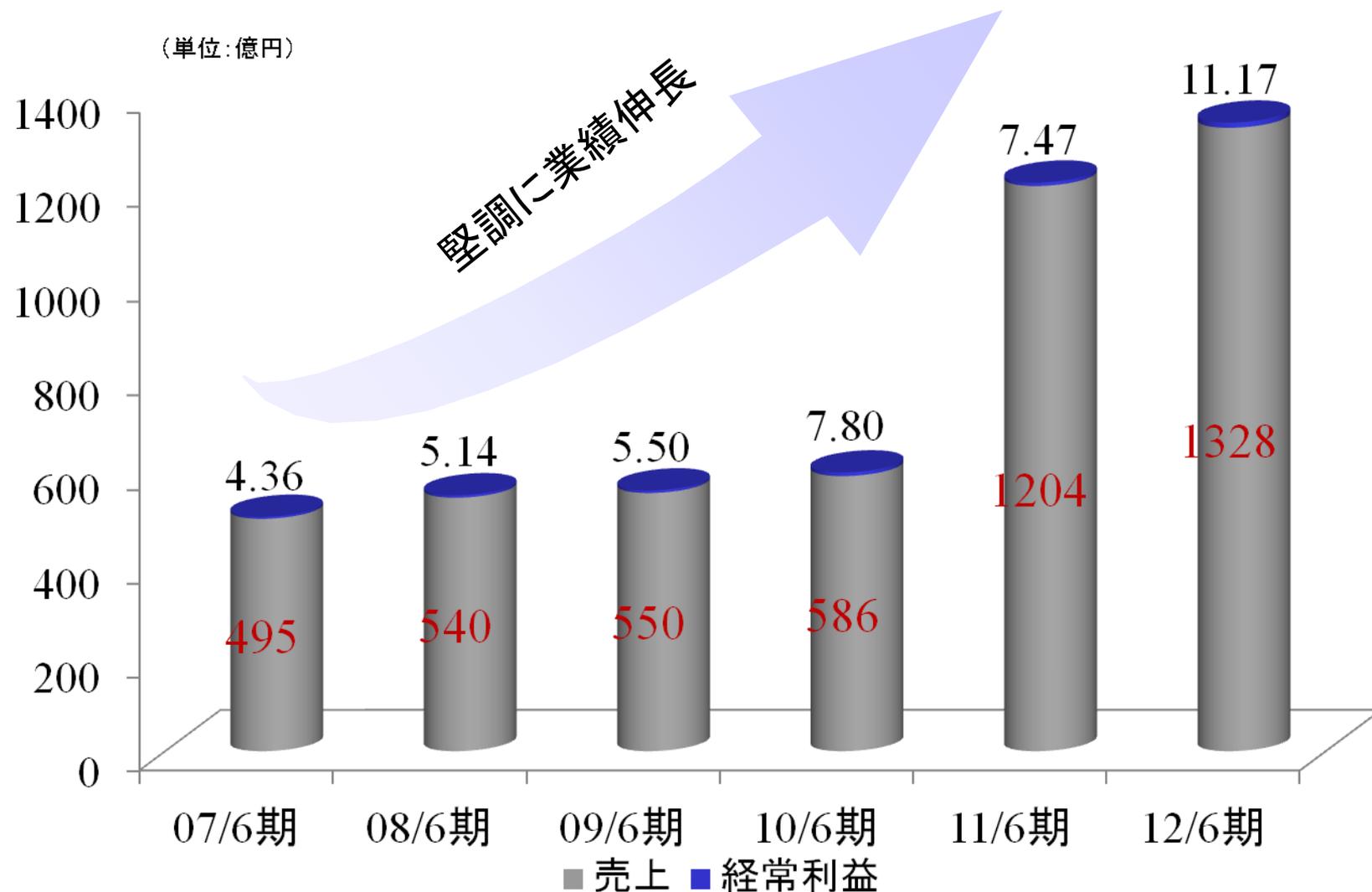


医療機器販売業



業績の状況

14. 当社グループの業績



15. 2013年6月期 第2四半期の概況(連結累計期間)

(単位：百万円、%)

連結損益	12/6期 第2四半期(実績)		13/6期 第2四半期(実績)		対前年同期 増減額	前年 同期比
	金額	百分比	金額	百分比		
売上高	62,617	100.0	67,055	100.0	4,437	107.1
医療機器販売事業	60,895	97.2	65,167	97.2	4,272	107.0
その他の事業	1,722	2.8	1,887	2.8	165	109.6
売上総利益	6,538	10.4	6,983	10.4	444	106.8
営業利益	363	0.6	788	1.2	425	217.0
経常利益	498	0.8	949	1.4	451	190.7
当期純利益	178	0.3	497	0.7	319	279.0
1株当たり当期純利益 (円)	61.53		174.48			

16. 2013年6月期 業績予想(連結)

(単位：百万円、%)

損益	12/6期 (実績)	13/6期		前期比
		上期 (実績)	下期 (予想)	
売上高	132,833	67,055	68,945	102.4
営業利益	828	788	212	120.7
経常利益	1,117	949	351	116.3
当期純利益	447	497	181	151.5
売上高営業利益率	0.6	1.2	0.3	0.7

達成のためのポイント：

- 償還価格引下げによる売上総利益率の低下を最小に抑えるために大量購買による価格交渉等で仕入価格の削減を図る
- 高度先端医療機器等の器械備品の案件を確実に成約に結びつける
- 首都圏・愛知県の新規顧客に対し営業強化により販売増加を図る
- SPDの推進

中期計画達成の為に

内部環境

強み

- 地域医療に関するノウハウ
- グループでのスケールメリット

弱み

- 自社単独拡大の困難性

外部環境

機会

- 国民医療費の増加
- 医療施設による共同購入

脅威

- 医療法の改定
(診療報酬の改定)
- 競争の激化

☆高齢化の進展、医療技術革新、健康志向の高まり等、医療支出は引き続き拡大していく見通し



★国家財政を圧迫する社会保障費の拡大抑制として、診療報酬の削減等医療保険制度の改革が推進

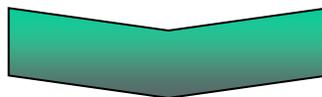
★2005年4月の改正薬事法施行により、医療機器販売業者への安全対策が重視される事となり、物流・販売管理・品質管理体制等の強化が求められる

医療機関の経営悪化

- 診療報酬の削減による利益縮小や減少する医師・看護師確保の為の人員費増大
- 病院・診療所の経営は急速に悪化
- 経営が悪化した医療機関はグループ化やM&Aを進展

医療機器販売業者間の競争激化

- 医療機関からの値下げ圧力、新機種への買い控えや、病院・診療所の統廃合や共同購買による販売先減少
- 価格競争等の同業者間の競争が激化
- 改正薬事法施行により、安全対策への投資が経営を圧迫

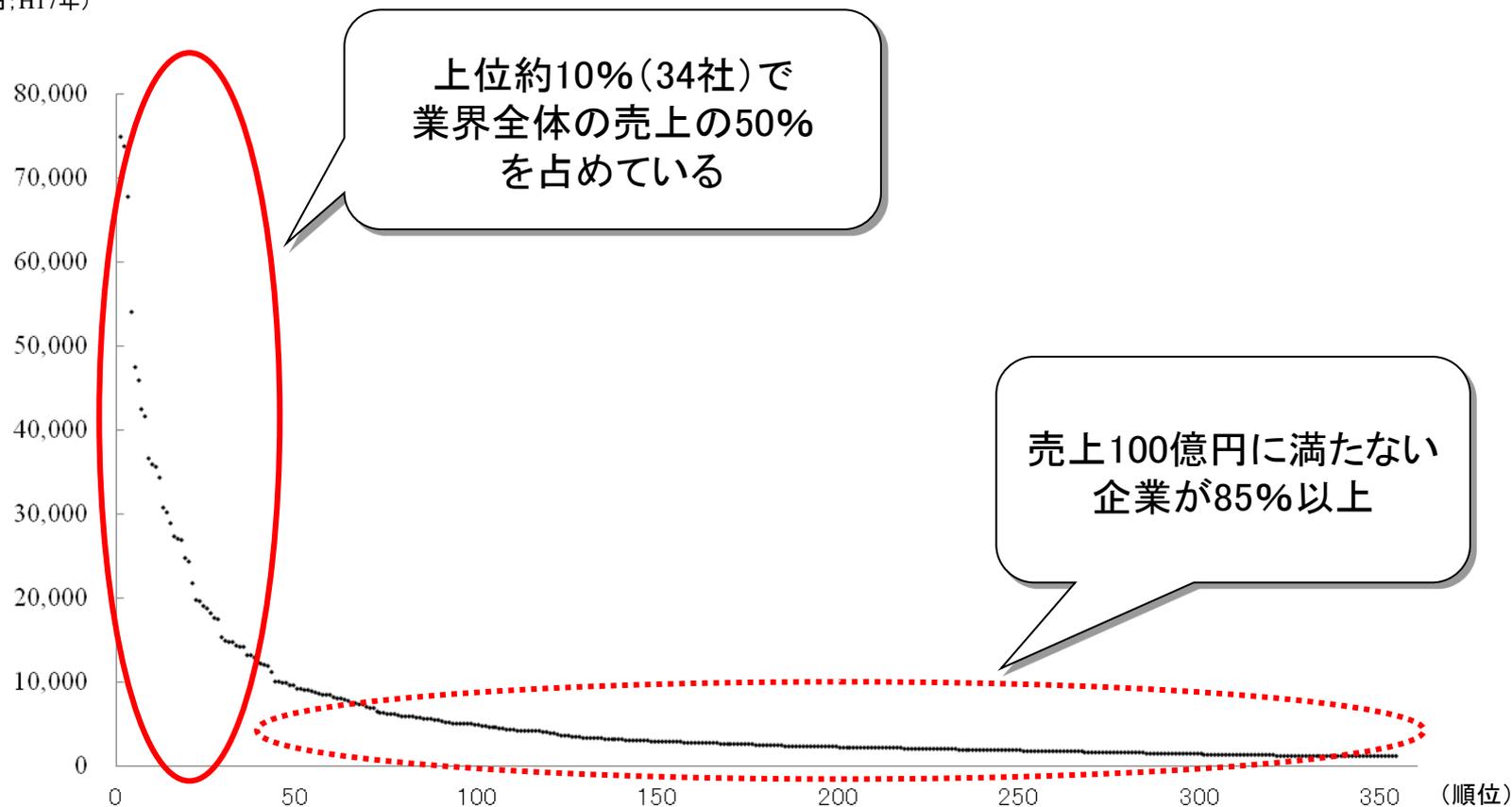


厳しい環境の中で、営業基盤拡大やスケールメリットの獲得を目的としたM&Aや提携戦略が積極化。今後も更なる業界再編が見込まれる。

19. 売上規模別分布

医療機器材料卸・小売業社の売上順位別売上額

(百万円; H17年)



医療機器・材料卸のプレイヤーの85%以上が売上100億円に満たない小規模企業で構成されている

20. 診療報酬改定の状況

(単位:%)

改定年月	診療報酬引上げ率				薬価基準引上げ率				合計 (A)+(B)
	医科	歯科	調剤	医療費 ベース (A)	薬価 ベース	薬価	材料	医療費 ベース (B)	
98年4月	1.5	1.5	0.7	1.50	-9.7	-2.7	-0.1	-2.80	-1.30
00年4月	2.0	2.5	0.8	1.90	-7.0	-1.6	-0.1	-1.70	0.20
02年4月	-1.3	-1.3	-1.3	-1.30	-6.3	-1.3	-0.1	-1.40	-2.70
04年4月	0.0	0.0	0.0	0.00	-4.5	-0.9	-0.1	-1.00	-1.00
06年4月	-1.5	-1.5	-0.6	-1.36	-6.7	-1.6	-0.2	-1.80	-3.16
08年4月	0.42	0.42	0.17	0.38	-5.20	-1.1	-0.1	-1.20	-0.82
10年4月	1.74	2.09	0.52	1.55	-5.75	-1.23	-0.13	-1.36	0.19
12年4月	1.55	1.70	0.46	1.38				-1.38	0.004

市場環境を踏まえた当社グループの経営課題

基本戦略

M & Aによる
規模拡大

+

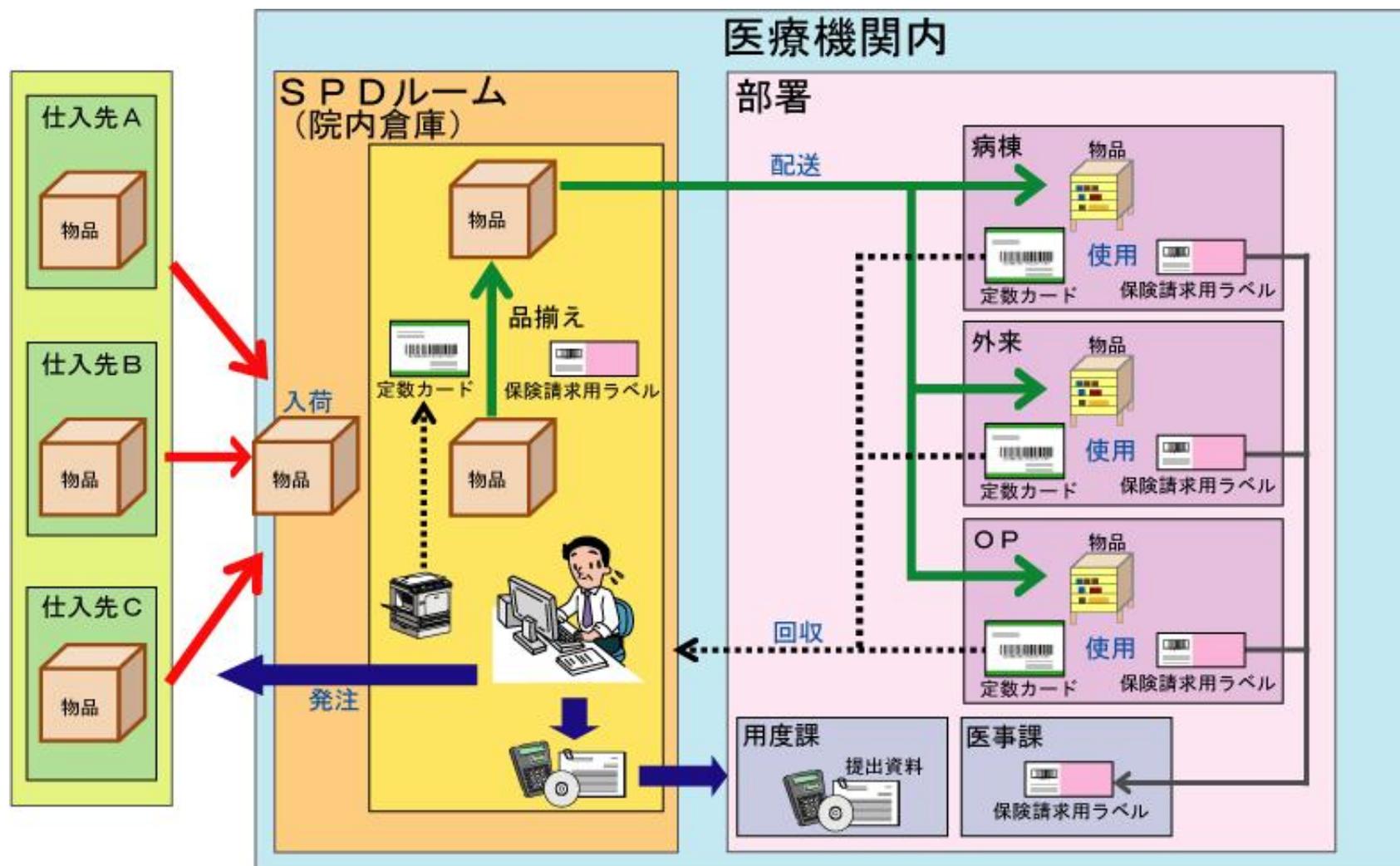
既存ビジネスの効
率化・強化による
高付加価値化

- ・ 既存ビジネスの高付加価値化との相乗効果による「M & A（業務提携）の推進」
 - ・ メーカーに対する価格交渉力の向上による「仕入コスト低減」
 - ・ 国内最大市場である「首都圏地域での競争力アップ」
-
- ・ 「情報システム構築」による効率的な安全管理、サービス提供および 適格な顧客管理（債権管理・リスク管理）の実現
 - ・ 企画提案力の向上による「新規取引先獲得」
 - ・ 業務効率の改善による「コスト低減」
 - ・ 多様化する医療機関のニーズへの対応

規模拡大(M & A)と高付加価値化により
リーディングカンパニーへ

22. SPDの流れ

一般的な院内倉庫管理型SPDの概略図

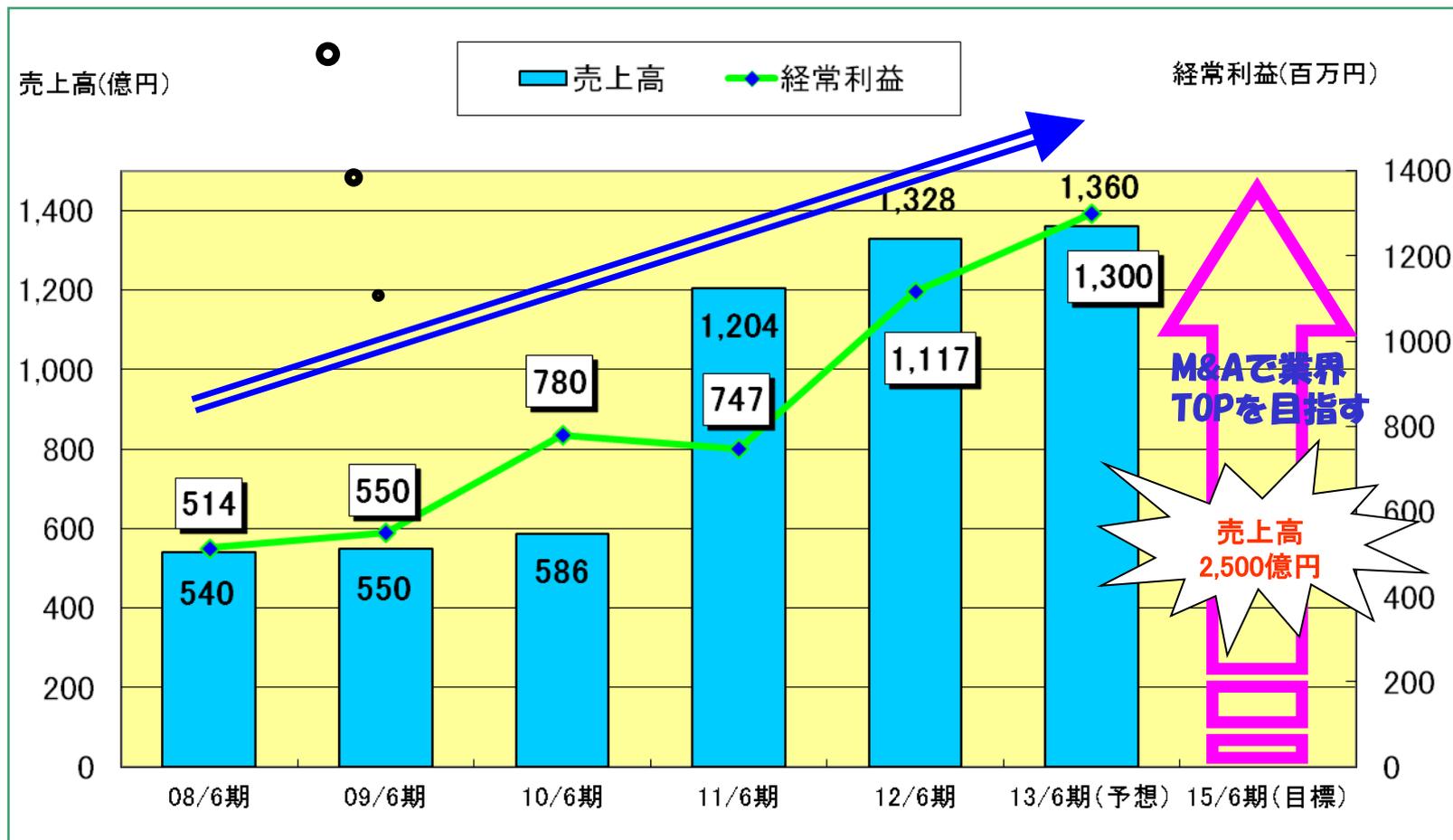


病院のニーズ

1. 自院でSPDを行いたい → ASP型のSPDシステムの提供
2. 購買分析をしたい → メッカル分析の提供・レポートニング
3. データベースを整備したい → メッカルデータベースの提供
4. SPDを委託したい → メディアソリューション SPD事業本部
NHS静岡
5. 一括購入のSPDをしたい → 協和・栗原・メディアソリューションの
ノウハウを提供

24. 中期業績目標(連結)

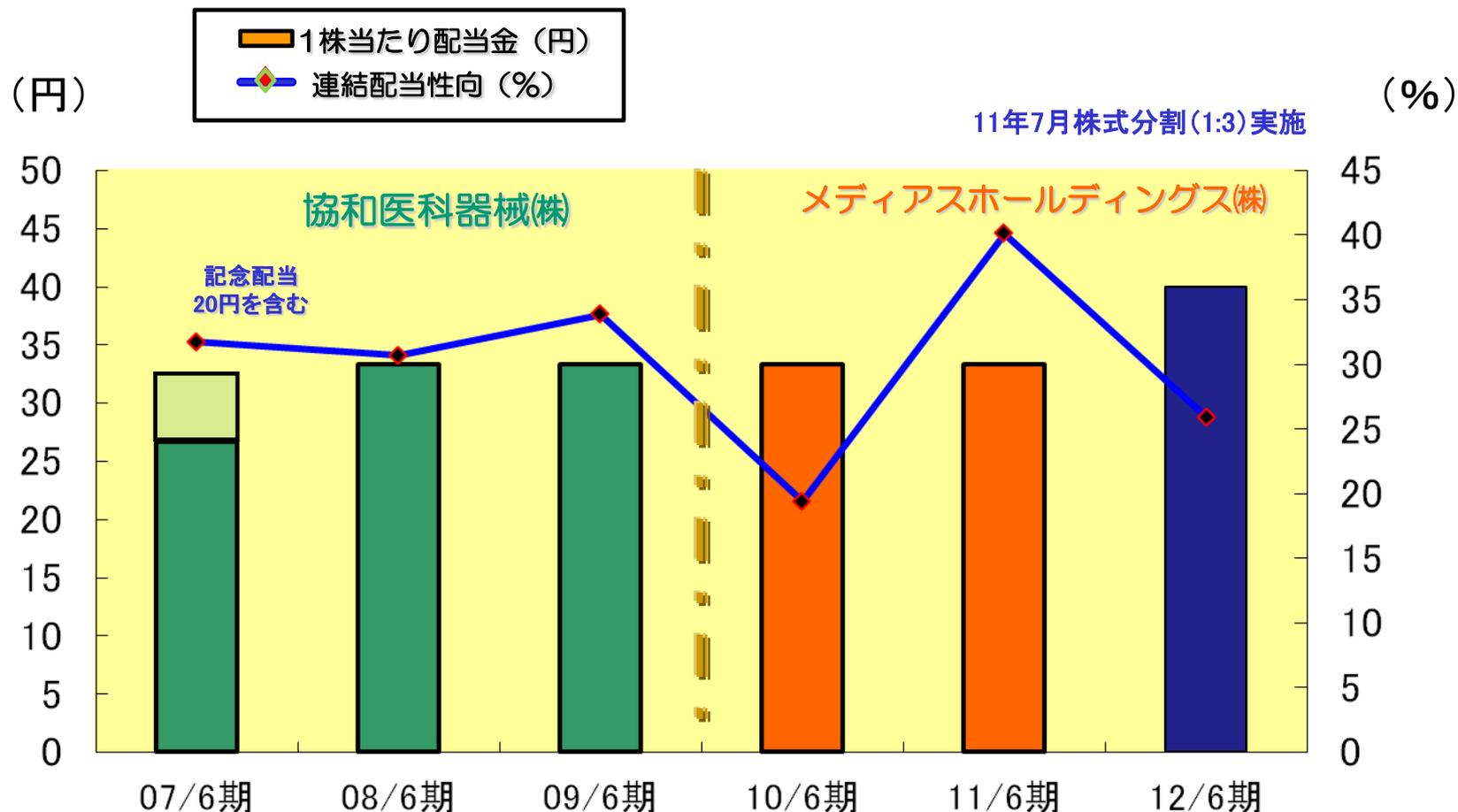
順調に拡大



株式に関する情報

25. 配当政策

中長期にわたる経営基盤の強化と事業拡大に必要な内部留保を確立しつつ、成長に応じた成果の配分を実施(連結配当性向25~30%)する事を基本方針としております。



※ 当社は、2011年6月30日の株主に対し、2011年7月1日付をもって、普通株式1株につき3株の割合で株式分割をしております。なお、1株当たり配当金及び1株当たり当期純利益は、当該株式分割による影響を考慮しております。

26. 配当総額

	前期実績					今期予想
	当期利益 (百万円)	1株配当 (円)	配当性向	総還元性向	配当利回り	配当利回り (2月20日)
メディアスHD	447	40	25.9%	38.9%	1.9%	2.6%
カワニシHD	346	10	16.2%	16.2%	0.8%	1.6%
ウィンインターナショナル	955	28	35.7%	42.1%	3.7%	3.8%
山下医科器械	202	24	30.2%	30.2%	1.8%	1.3~1.8%
シップヘルスケアHD	7,026	35	20.5%	20.5%	1.4%	1.2~1.4%
アイ・エム・アイ	1,003	60	31.2%	31.2%	3.9%	3.9%
日本ライフライン	720	25	37.5%	37.5%	4.5%	4.5%
ディービーエックス	476	17.5	20.6%	20.6%	1.4%	1.8%

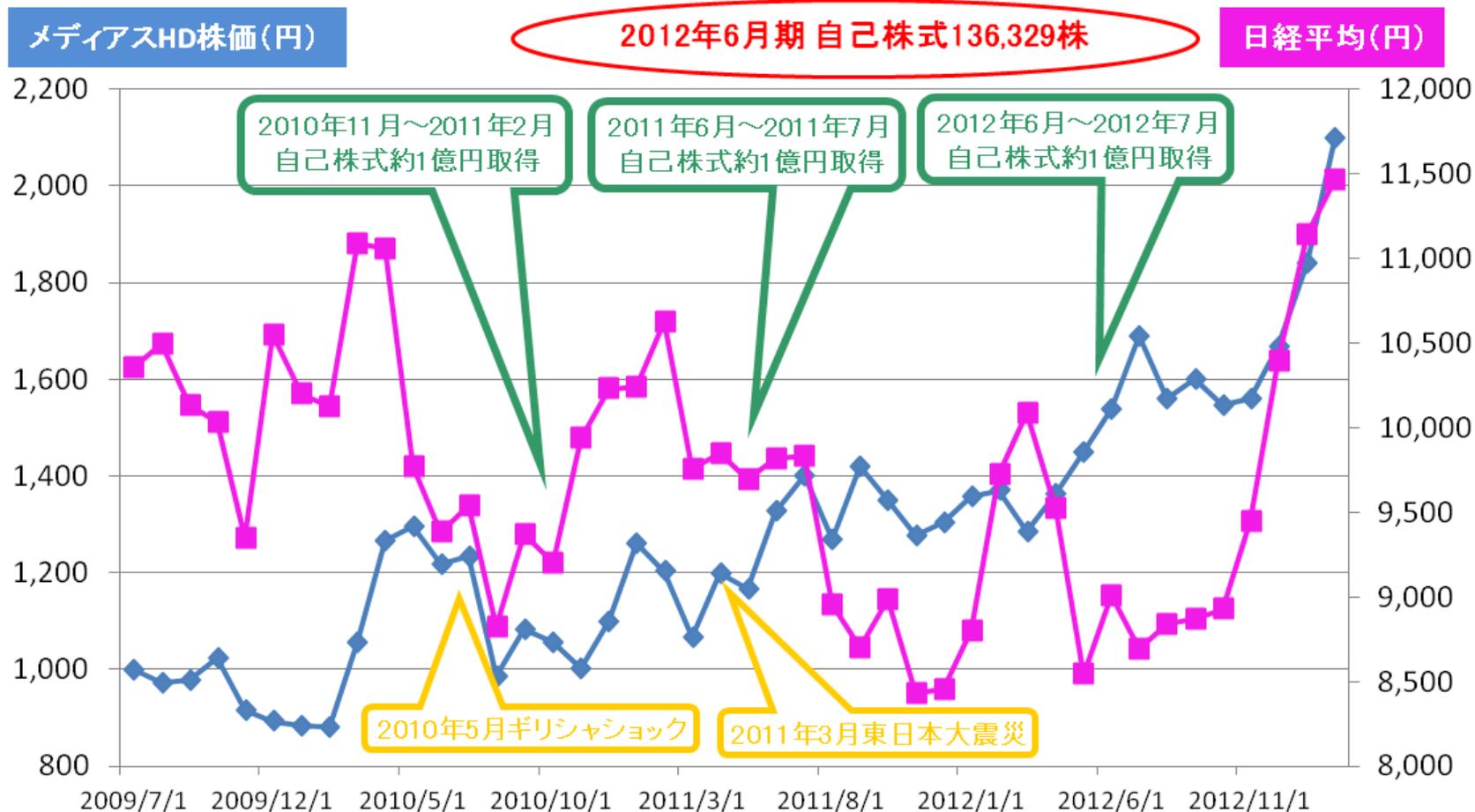
※ 総還元性向 = 当期純利益 ÷ (配当総額 + 自己株式買い付け総額)

今期予想配当利回りの予想配当は東洋経済四季報より、株価は2月20日終値にて算出

参考：全国平均大口定期預金 預入期間1年0.04%

27. 自己株式取得に係る事項

自己株式の取得を行う理由： 経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため。



出所) 株式会社QUICKデータより作成

※ 2011年6月30日を基準日として、普通株式を1対3の割合で株式分割いたしました。効力発生日が2011年7月1日であるため、2011年6月1日以降取得した自己株式は分割後の株式数に調整しております。

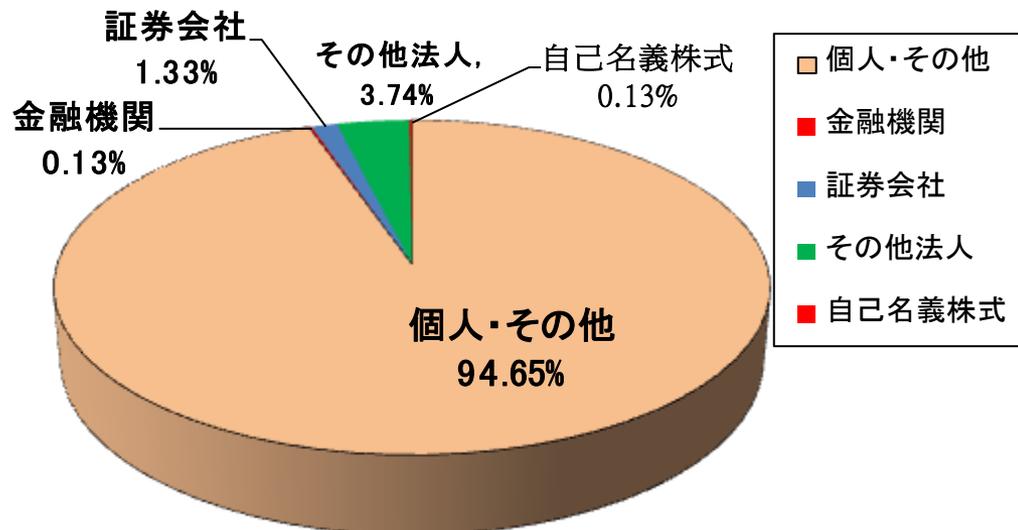
28. 当社株価(週足)



出所)株式会社QUICKデータより作成

29. 株主状況

【所有者別株主数比率】

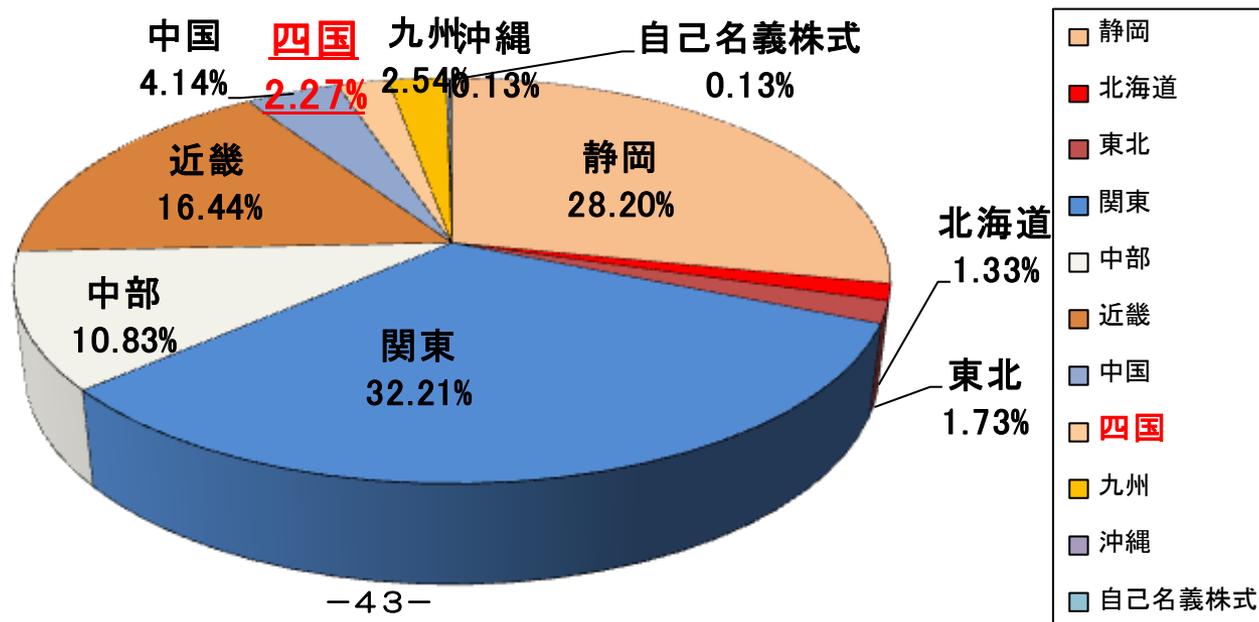


2012年12月31日現在

発行可能株式数	9,900,000 株
発行済株式総数	3,031,356 株
株主数	748 名

(自己株式 184,329株含む)

【地域別株主数比率】





社会貢献活動 ～当社CSR～



私たちが活動する地域の医療環境が向上すること目指し、
 「メディメッセージ」を継続してまいります。

メディメッセージの活動概念



- 医療機関と地域の皆さまとが対話できる機会を積極的につくります。
- 医療スタッフの皆さまの努力と情熱を地域に伝え、理解を図ります。
- 地域の皆さまの声を医療関係者に届け、医療環境の改善に努めます。
- 医療環境のあるべき姿を見つめ、地域社会に向けて啓発を行います。
- 医療技術情報を地域に発信し、よりよい医療環境づくりを目指します。
- 医療に関わる仕事の大切さを伝え、この分野の担い手をつくります。

多くの方々に来ていただきました。

メディメッセージ2011

アクトシティ浜松
展示イベントホールにて



開催年	来場者数
2011年	7,000人
2010年	6,500人
2009年	6,000人
2008年	5,000人

模擬手術



da Vinci

一般的な鏡視下手術とは異なり、3D画像下で手術を行う事ができます。

また、人間の手と同等以上の可動域を持ち、多様な先端形状で各領域における内視鏡手術器具操作が可能です。



K-MIXエコキャップ運動 協賛・協力

(静岡県のFM放送局)

エコキャップ運動の概要

- 静岡県内の医療施設にエコキャップ回収BOXを設置
 - 回収BOXに溜まったキャップを協和医科器械社員が回収
 - エコキャップを定期的にK-MIX本社へ搬送
 - 回収したキャップをリサイクル資源として収益金を得る
 - K-MIXを通じて収益金をNPO法人へ寄付
(NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会」)
 - 収益金をポリオワクチンなどに充て東南アジアへ贈る
-
- K-MIXを通じてエコキャップ運動を啓発
 - 医療施設におけるエコキャップ運動の啓発



2008年5月より活動開始

現在の回収BOX設置数: 161個

2013年1月までの回収実績: 9,705,500個

(ポリオワクチン12,132本相当)



地域の皆さまがサッカーを通じて福祉に貢献できる仕組みをつくりました。



ホームゲームのゴール数と入場者数に応じた金額が「エスパルス福祉基金」になります。

○ホームゲーム1得点ごとに3万円

○ホームゲームのご来場者1名につき5円

シーズン終了後に静岡市を中心とした福祉団体や医療機関等に寄付や寄贈を行います。



エスパルス福祉基金の活動告知に協力します。



試合で使用される担架を提供しています。



当社が提供する啓発CMもオンエアされます。

I R

担当役員 代表取締役社長 池谷 保彦
担当部署 社長室

情報開示（ディスクロージャー）

担当役員 取締役 野中 治男
担当部署 経営企画部

T E L : 03-3242-3154

F A X : 03-3242-5016

メー ル : ir.m@medius.co.jp

U R L : <http://www.mediusth.com/>

添付資料

1. 協和医科器械株式会社 沿革

- 1959年7月 静岡県清水市(現静岡県静岡市)に**協和医科器械株式会社**を設立し医療機器販売事業を開始。
- 1975年8月 レントゲン及び医用電子部門の販売力を強化するため**精工医科電機株式会社**を吸収合併し、ME事業部を創設して修理及びメンテナンス事業を開始(現技術部門)。
- 1980年5月 山梨県田富郡に**山梨営業所**(現甲府支店)を開設。
- 1980年8月 レントゲン及び医用電子部門の専門性と販売力を強化するためME事業部を独立させ静岡県清水市(現静岡県静岡市)に**株式会社協和エムイー**設立。
- 1981年1月 循環器科・眼科の専門性と販売力を強化するため**株式会社オズ**(現連結子会社・特定子会社、本社：静岡県静岡市)に資本参加。
- 1993年10月 神奈川県横浜市に**横浜営業所**(現横浜支店)を開設。
- 1995年10月 東京都府中市に**西東京営業所**を開設。
- 1995年11月 静岡営業所内において介護福祉事業ショップとして**ベネッセレ静岡**を開設。
- 1997年8月 愛知県名古屋市に**名古屋南営業所**(現名古屋支店)を開設。
- 1998年12月 愛知県内の販売力強化のため**株式会社ハヤシ**の株式を100%取得。
- 2006年9月 **ジャスダック証券取引所に株式を上場**
- 2007年7月 **株式会社栗原医療器械店との業務提携締結。**
- 2009年4月 **ソネット・エムスリー株式会社との業務提携締結。**
- 2009年7月 **協和医科ホールディングス株式会社**設立
- 2012年1月 東京都内2拠点を**栗原医療器械店**と統合



2. 株式会社栗原医療器械店 沿革

- 1952年 7月 群馬県太田市に 栗原 基により創業
- 1985年12月 埼玉営業所開設(現熊谷支店)
- 1987年 4月 宇都宮営業所開設(現宇都宮支店)
- 1991年 4月 太田市清原町に本社移転。新社屋落成
- 1994年11月 大宮営業所開設(現さいたま支店)
- 1995年10月 所沢営業所開設(現所沢支店)
- 2004年 4月 株式会社イリカジャパン吸収合併に伴い、
水戸支店・土浦支店・小山営業所開設
- 2005年 5月 鶴ヶ島営業所開設。 太田物流センター開設
- 2007年 6月 ISO9001/2000認証取得。協和医科器械株式会社と業務提携
- 2008年 3月 八王子営業所・横浜営業所開設
- 2008年 4月 株式会社大霜吸収合併に伴い、東京西営業所・湘南営業所開設
- 2008年 6月 千葉営業所開設
- 2009年 9月 協和医科ホールディングス株式会社(現:メディアスホールディングス)との
資本業務提携契約締結
- 2010年11月 協和医科器械株式会社との経営統合に伴い横浜営業所閉鎖
- 2012年 1月 協和医科器械株式会社より、東京都の営業権を授受
それに伴い拠点の統廃合を実施



3. 株式会社オズ 沿革

1981年1月、協和医科器械株式会社との資本業務提携に伴い、代表取締役を派遣し、協和医科器械株式会社の子会社となりました。
静岡県下を中心に循環器を専門に医療機器を販売しています。

- 1946年11月 創業
- 1980年12月 協和医科器械株式会社100%子会社に
- 1984年 8月 富士営業所開設（富士市依田原新田）
- 1990年 7月 本社移転（静岡市高松）
- 1991年 7月 資本金1,000万円に増資
- 1991年12月 浜松営業所開設（浜松市篠ヶ瀬）
- 1999年 5月 本社新築移転（静岡市高松）



本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。